

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、開会中の月定例会で付託になった議案等について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 相当数の市有地がある。今後歳入を確保するために一番力を入れるべきであるがどのように取り組むか。

答 市有地はたくさんあるが、その中で実際に売却可能な土地にのぼり旗を立てて売り地と分かるように23年度当初予算に計上している。

意見 消防団詰所の補助対象外の備品等については市の経費を充てるべきである。

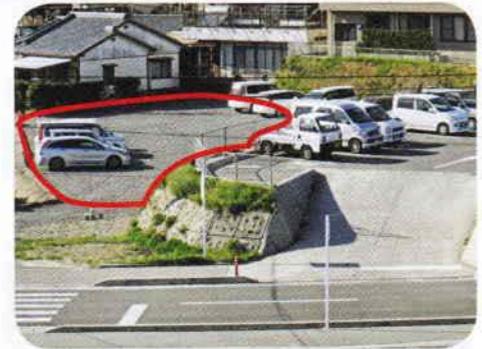
☆平成23年度曾於市一般会計予算(所管分)

問 平成28年度以降の財政計画はどういう形になっていくのか。

答 合併特例債(合併10年間)は平成27年度まで100%受け入れられる。



完成した末吉中央分団詰所



舗装が待たれる駐車場

普通交付税は平成28年度以降、5年かけて段階的に率が下がっていくので、かなり厳しくなると思っている。

問 財政計画と総合振興計画との整合性は。

答 財政計画は総合振興計画等を毎年見直ししていくのでその段階で修正していく。

問 整備された本庁舎北側駐車場入口の空き地も一緒に舗装ができないか。

答 駐車場の入口の空

き地は旧水路敷地であり地下に縦坑があるので現在検討している。

問 耐震性の防火水槽は構造上どう違うのか。

答 国の補助事業の対象であり、構造的にも強度が高く震度6程度の耐震性がある。

問 職員から要望があればいろんな研修に参加させるとあったが、職員に伝わっているのか。

答 アカデミー等の研修については、職員に希望をとって受けさせ

ている。今後、職員が少なくなっていくのでより高い意識を持って資質向上に向けた研修を受けさせたい。

問 空き家調査事業の実施時期及び事業内容は。

答 2年前に空き家の件数等を調査したので、今回6月から6カ月間、居住可能と思われる空き家の調査を詳しく行なう。

意見 ◎合併によって職員数が減っている中で、今後少ない人数の中で係だけでなく、課全体で対応できるシステムを構築すべきである。

◎パークゴルフ場・フラーパーク整備事業は、今回10社より設計技術の提案を受ける予算であり、それを基に財政も含めたうえで議論を深め、調査研究も進める必要がある。

文教厚生常任委員会

(原田賢一郎委員長)

☆平成23年度一般会計予算について(所管分)

問 市内の小規模集落水道の調査結果の概要は。

答 市全体で93組合があり約6,300人が加入されている。運営上では、高齢化などによる維持管理が困難なことや災害時の対策が不十分であるなど問題点もある。



耐震補強工事が実施される榎小学校

意見 条件の悪い地域ほど手厚い行政の手立てを行う必要がある、

生活環境の実態を把握され、救済策を十分検討するべき。

問 学校施設の耐震補強工事の内容について。

答 23年度は5小学校(榎・諏訪・岩北・恒吉・大隅南)で補強工事を実施する計画である。

☆平成23年度国民健康保険特別会計予算について

問 新規事業のミニドック健診の内容は。

答 仕事などで健診を受けられない方々の対応策として、特定健診とがん検診をセットで個別に医療機関で受けられる健康診査で150名を見込んでいます。

☆平成23年度介護保険特別会計予算について

問 新しい緊急通報システムの内容について

答 ひとり暮らしの高齢者宅での家電製品の利用状況が、離れて暮らす家族などにメールで届けられるシステムである。

☆所管事務調査

(調査事項)

保健福祉関連施設調査(内容)

市内における保健福祉施策の実態を把握するため、6施設の調査を実施した。

すみよしの里(末吉町)

主に身体障害者を対象とした多機能型複合施設として生活介護・短期入所・就労支援など多岐にわたる事業を実施され、就労支援では、野菜の栽培、袋詰め作業などの取り組みが行われている。

のどか園(末吉町)

自立訓練・就労移行支援において、意欲的に障害者の方が働ける環境作りに配慮され、園内には食品加工工房・製パン工房、レス・製パン工房などがあり、農業を基本に据えた事業が展開されている。

・高松みどりの里

(末吉町)

グループホーム・小規模多機能ホームの2事業が実施されており、利用者の状態に応じて、通い・泊まり・訪問を組み合わせた支援がなされ、家庭と施設で連携した介護の取り組みがなされている。

・グループホーム曾於

(財部町)

定員18名の当施設は、認知症対応型の介護事業所として、少人数でゆったりとした生活を営みながら介護が行えるよう、家族的な雰囲気を出し配慮がなされている。

・市社会福祉協議会

財部事業所(財部町)

通所介護の事業として、入浴設備・リハビリ設備等を利用し、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、家族の身体的・精神的負担の軽減が図られている。



大隅シオン舎
うどんの店ふくろう

建設経済常任委員会

(大川原主税委員長)

☆平成23年度曾於市一般 会計予算(所管分)

を森林組合に委託する
ものである。

問 花房峡憩いの森環境学習促進事業の内容と委託先は。

答 ふるさと基金を使った事業で、主に遊歩道の整備を中心に、環境学習、特に体験活動の計画、案内板の設置

問 農業者年金の21年度未受給者と、受け取る年金の財源は何か。

答 21年度未受給者は1,337人、加入者は179人であり、農業者年金は旧法と新法の2種類に分かれ、新

法においての農業者年金は、個人の掛金とその運用益が将来受け取る年金となる。

問 農道等維持補修に関する対応は。

答 これまで生コンの支給は概ね14m以内の支給が原則だったものを概ね200m以内に、採石の支給はこれまで14mだったが、原則20mに、トラフ支給もこれまで概ね5万円以内であったが、これも概ね200m以内を原則とし、外蓋・ヒューム管等二次製品支給は5万円以内を原則に対応する。

問 雇用促進事業の内容は。

答 新卒者未就労防止については、市内の出身者を対象に今春卒業の高校生・大学生などを含めて考えている。

問 花と緑の供給センター管理費の内容で、花の種類がいつも同じようだが、他に種類はあるのか。

答 基本的に夏はサルビア、マリーゴールドを育苗し、冬は葉ボタんとパンジーを育苗している。定着しているものもあるので、少しずつ変えていく。

☆平成23年度曾於市 公共下水道事業特 別会計予算

問 主な事業の内容は。

答 汚水枝線管渠の詳細設計と工事を実施し、受益地区での下水道へ接続を順次進めていく。

☆平成23年度曾於市水道 事業特別会計予算

問 量水器の修繕費の内容は。

答 計量法により8年に1回交換するよう定められているので、今年は1334個を交換予定である。



下水道への接続工事の様様



花と緑の供給センター内